



報道各位

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所

広域連携サミット2017の開催と地域社会への貢献

統計数理研究所は、立川市との連携・協力協定(*1)を昨年9月16日に締結、住民意識調査の実施や本年6月16日には協働シンポジウム「1万人調査が描き出す立川市の魅力ー結果速報」を開催(*2)、さらに、立川市が後援する子ども見学デー(*3)を開催してきました。

この度、立川市を含む近隣9市の首長が一堂に会して来年1月31日に開催される「広域連携サミット2017」(詳細は次頁を参照)を、統計数理研究所は共催して開催することにより、近隣自治体の市域を越えた連携に対して協力・貢献いたします。

このサミットでは、9市の首長により各市の取り組みが話し合われ、さらに、今後の広域連携への新たな展望が探られます。このサミットは立川市の統計数理研究所で開催され、話し合いの進行をリードするファシリテーターは統計数理研究所長が務めます。



立川市の統計数理研究所

(*1) <http://www.ism.ac.jp/kouhou/news/20150916tachikawakyoutei.html>

(*2) <http://www.ism.ac.jp/ura/press/ISM2016-04.html>

(*3) <http://www.ism.ac.jp/events/kodomo2016/index.html>

問合せ先: 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所 運営企画本部 URAステーション 担当: 北村
E-mail : ask-ura@ism.ac.jp, TEL : 050-5533-8580

平成 28 年 11 月 24 日

記者各位

立川市総合政策部企画政策課長

広域連携サミット 2017 の開催について

日常生活圏の拡大や地域経済圏の拡大にともない、地方自治体はその市域を超えて、より広域的な観点から対応すべき多くの行政課題を抱えており、近隣自治体との連携、協力、調整を進めていく必要があります。

そこで、新たな広域連携のあり方を検討するために、この趣旨に賛同した、生活圏や経済圏が重なる 9 市（立川市、昭島市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、武蔵村山市）の首長により広域連携サミットを開催いたします。

「地域における広域連携に向けた取り組み～魅力あふれる多摩地域の創生の実現に向けて～」をテーマに、各市の取り組みを交え話し合うとともに、さらに今後の広域連携の新たな展望を探ります。

つきましては、このサミットの取材をご希望される場合は 1 月 26 日（木）までに以下の申し込み先（立川市企画政策課宛）にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【広域連携サミット 2017】

日 時：平成 29 年 1 月 31 日（火）午後 3 時～5 時

会 場：統計数理研究所 2 階 大会議室（立川市緑町 10-3）

主 催：立川市、昭島市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、武蔵村山市

共 催：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所

出席者：昭島市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、武蔵村山市、立川市の各市長、統計数理研究所長

その他：会場入口にて受付をお願いします。

取材中は、記者用の腕章をお付けください。

車で来場される場合は研究所向かいの立川市役所の駐車場をご利用ください。

（申し込み先）

立川市総合政策部企画政策課 担当：高水、平田

TEL：042-523-2111（内）2689

FAX：042-521-2653